

聴覚障害児(者)におけるICT活用

～ 聴覚障害児(者)の未来のために ～

平成31年3月14日

■ **設立年月日**
平成21年 5月10日（日）

■ **設立趣旨**

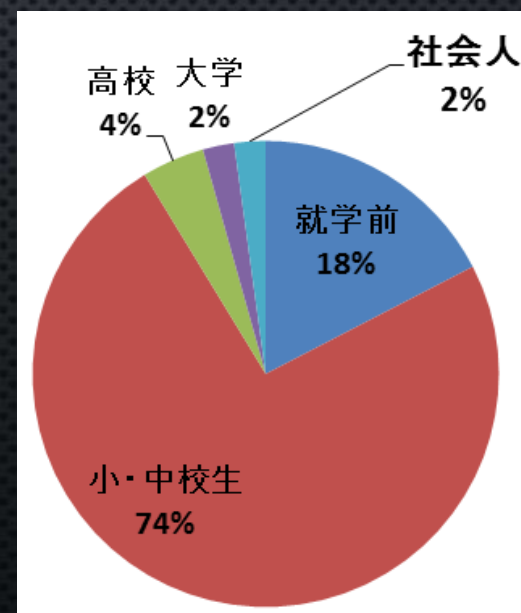
- ・ 難聴児を持つ親同士、または子どもたちとの交流や情報交換
- ・ 難聴やそれを取り巻く環境等についての勉強会
- ・ 難聴や補装具・支援機器についての啓蒙活動
- ・ 他県親の会や関連団体との交流や意見交換
- ・ 当会に有意義な活動となる事業...等

■ **会員数**
52家族（平成31年2月現在）

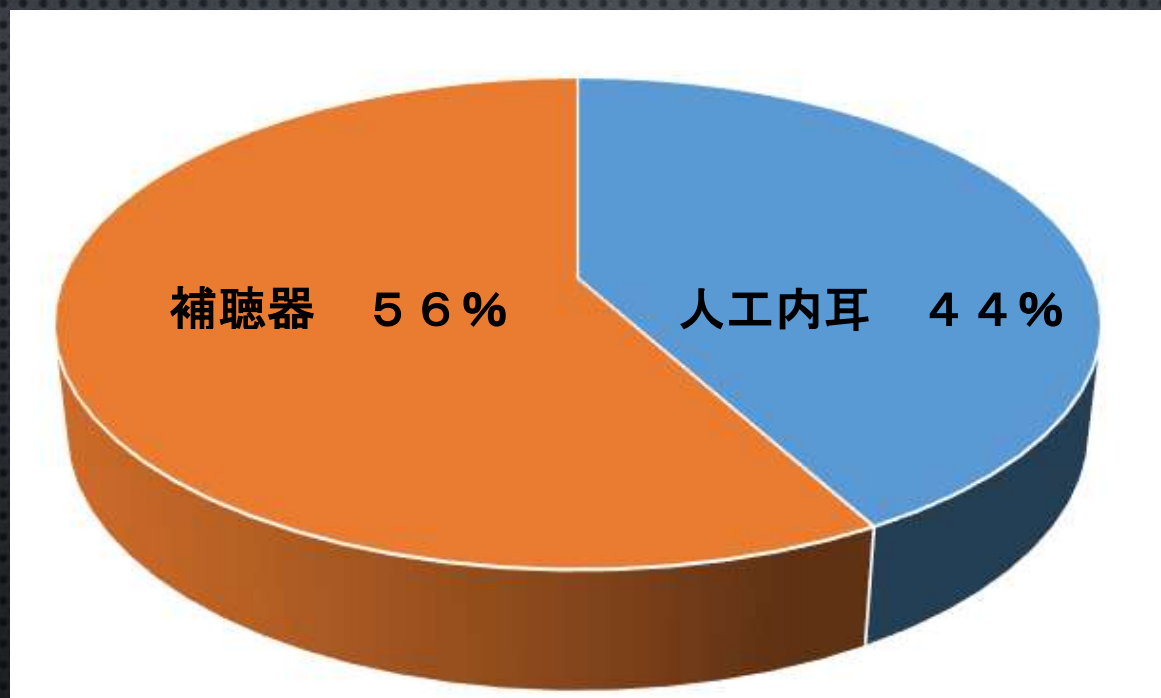
■ **主な事業**

- ・ 交流事業
- ・ 勉強会
- ・ 要望活動 等
- ・ 総会・役員会

会員構成



■ 補装具数比率



香川県難聴児(者)親の会

■ 主な活動（交流・体験事業）



香川県難聴児(者)親の会

■ 主な活動（研修事業）



香川県難聴児(者)親の会

■ 主な活動（要望活動）

身体障害者手帳交付に該当しない軽・中等度難聴児に対する
補聴器購入費用助成を求める陳情書



平成24年度に要望書提出

平成25年度より県下施行

香川県難聴児(者)親の会

■ 主な活動（要望活動）

人工内耳機器の購入等に関する公的助成についての要望書



平成２７年度に要望書提出

平成２８年度より高松市内で施行

(さぬき市・観音寺市・丸亀市・善通寺市・坂出市・多度津町・まんのう町・琴平町 等)

香川県難聴児(者)親の会

■ 主な活動（平成26年度高松市協働企画提案事業） 難聴者（児）バリアフリー情報提供事業

聴覚に障がいを持つ子供達によりよい教育環境と生活環境をもたらすため、高松市との協働企画提案事業を計画し、バス事業者及び行政機関と連携して四国で初めてとなる路線バスへの磁気ループ導入や市内公共施設における磁気ループ設置場所を記した案内マップを作成するなど、高齢者・障害者等が安心して移動出来るためのバリアフリー化に貢献。



磁気ループマーク(左)と
耳マーク(右)

（取組みの概要）

1. 四国で初めて路線バスに磁気ループを導入

- ・高松市の「協働企画提案事業」により実施
 - ・市民、行政、事業者といった多様な関係者によるパートナーシップの構築
 - ・当事者性・先駆性・専門性のある提案を実現
- ・磁気ループ導入の取組を全国に発信
 - ・シンポジウム等を通じて取組事例を全国に発信
 - ・当事者団体の全国大会で、磁気ループ設置バスの体験乗車を実施予定

2. 磁気ループ設置施設のマップを作成・無料配布

- ・磁気ループ導入バス利用を促進
 - ・市や県の管理施設のほか、宿泊施設も含めた、磁気ループ掲載施設を案内
 - ・磁気ループ導入バスの時刻表なども掲載し、利用を促進



磁気ループが導入されたバス



車内に設置された磁気ループ

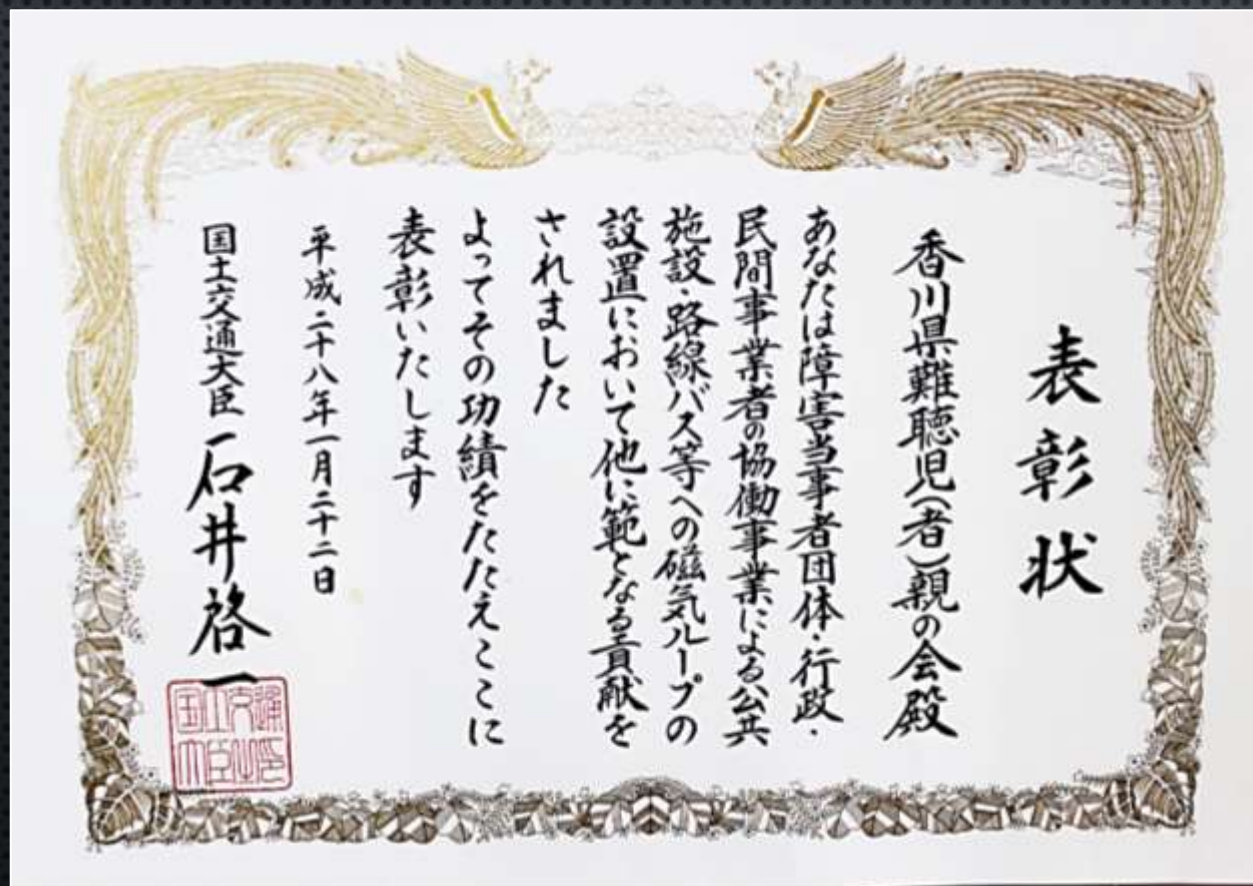


磁気ループ設置場所施設のマップ

香川県難聴児(者)親の会

■ 主な活動（平成26年度高松市協働企画提案事業） 難聴者（児）バリアフリー情報提供事業

平成27年度国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰



香川県難聴児(者)親の会

- 主な活動（平成26年度高松市協働企画提案事業）
難聴者（児）バリアフリー情報提供事業

平成29年度内閣府障害者週間障害者関係功労者 団体の部
内閣総理大臣表彰



平成29年度「障害者週間」関係表彰式
障害者関係功労者表彰
平成29年12月5日 前・南海大学校友会館



香川県難聴児(者)親の会

平成26年頃からデータ通信等の効率化

スマートフォンやタブレットの急増

インターネット活用やFree Wi-Fiの急増

社会環境に I C T 活用の流れ

I C Tの可能性や I C Tの利用促進への検討 等



難聴児を持つ親として検討

香川県難聴児(者)親の会

- 主な活動（平成29年度高松市協働企画提案事業）
ユニバーサルデザインたかまつプロジェクト
I C T活用によるUD先進市高松を目指して！



I C T を活用したユニバーサルデザイン推進

（観光・教育・福祉・その他作業の効率化など）



■ユニバーサルデザイン（UD）とは

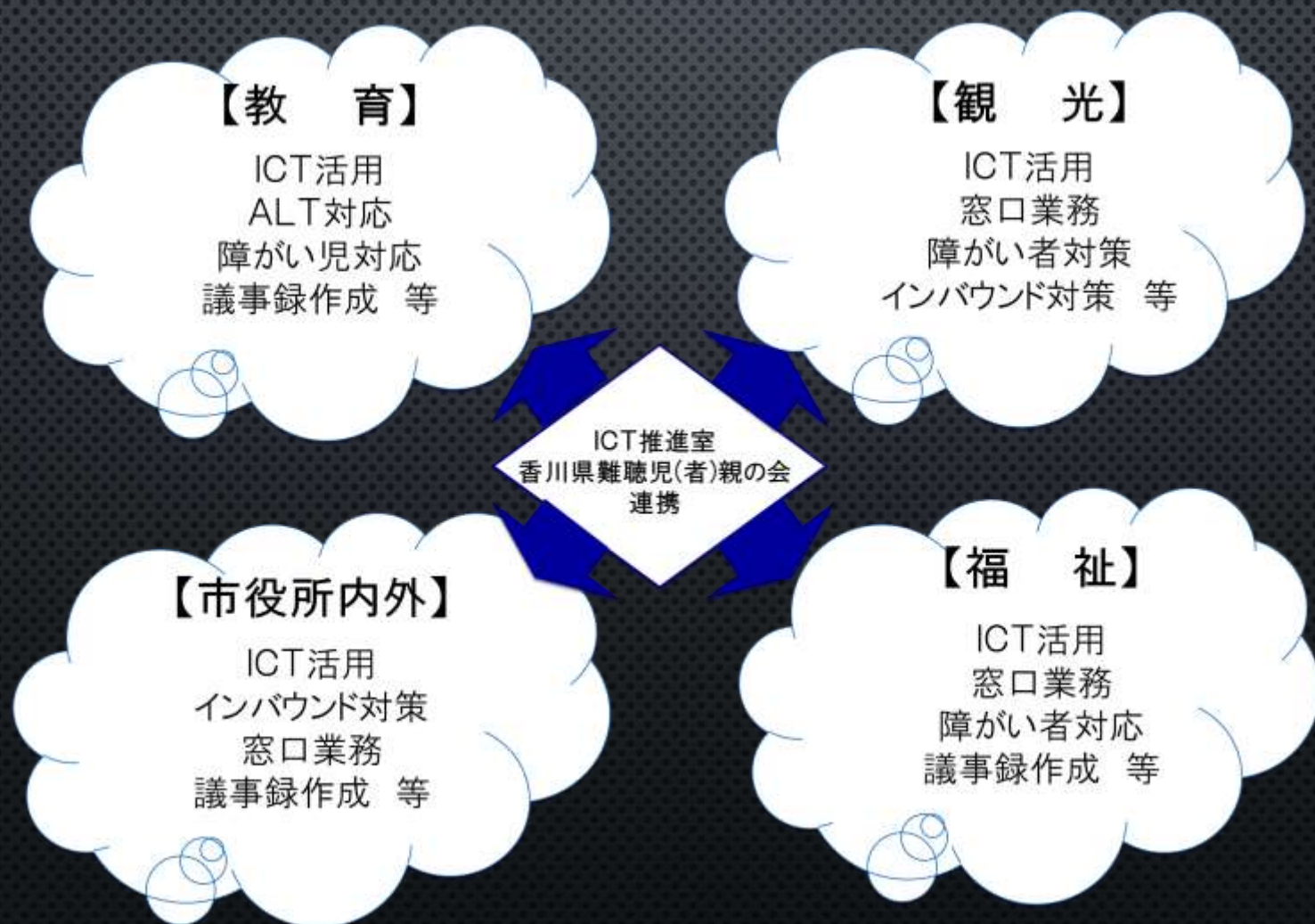
文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、
障がい・能力の如何を問わず、利用することができる施設や製品・情報の設計

■ I C T (Information and Communication Technology)とは

日本では「情報通信技術」と訳され、情報処理や通信に関連する技術産業、設備、サービスなどの総称

香川県難聴児(者)親の会

- 主な活動（平成29年度高松市協働企画提案事業）
ユニバーサルデザインたかまつプロジェクト
ICT活用によるUD先進市高松を目指して！



香川県難聴児(者)親の会

■ 主な活動（平成29年度高松市協働企画提案事業） ユニバーサルデザインたかまつプロジェクト ICT活用によるUD先進市高松を目指して！



高松市 Press Release

平成29年10月3日

(本発表のお問い合わせ先)
政策課ユニバーサルデザイン推進室
広報資料取扱主任：松本 徳
電話：839-2141

コミュニケーション支援アプリを搭載したタブレットを 福祉・観光・教育の分野で活用します！

平成29年度高松市協働企画提案事業「UD（ユニバーサルデザイン）たかまつプロジェクト」の取組として、香川県難聴児（者）親の会と協働し、福祉・観光・教育の分野で、コミュニケーション支援アプリを搭載したタブレットを活用します！
このタブレットを使うと、音声認識と多言語翻訳機能などで、会話をリアルタイムに表示することができ、聴覚障がいのある方や外国人の方などと、スムーズにコミュニケーションをとることが可能になります。

たとえば、こんなことに活用します！ ※詳細は別紙1参照

障がい福祉課の窓口対応での
使用や、障がい者が集うイベント
や講演会等で活用。
(障がい福祉課)

観光ボランティアガイドが、
玉藻公園や屋島山上で、外国人
観光客等へ観光案内をする
際に活用。
(観光交流課)

特別支援学級等で、
授業や集会等で活用。
(総合教育センター)



■お問い合わせ

政策課 ユニバーサルデザイン推進室 839-2141
※活用予定の詳細は、各課へお問い合わせください。
障がい福祉課：839-2333 観光交流課：839-2416
総合教育センター：811-2161

■添付資料

・別紙1 コミュニケーション支援アプリの活用予定

コミュニケーション支援アプリの活用予定

担当課	内容
障がい福祉課	時期：平成29年10月～30年3月 場所：高松市役所 障がい福祉課 内容：窓口での使用
	時期：平成29年10月8日（日） 場所：高松市総合福祉会館6階 内容：「第2回高松市ボッチャ交流大会」で、聴覚障がい者等を対象に活用。
	時期：平成29年11月7日（火） 場所：サンポートホール高松 大ホール 内容：「福祉のつどい2017」で、聴覚障がい者等を対象に活用。
観光交流課	時期：平成29年10月～30年3月（土曜日及び日曜日） 場所：玉藻公園・屋島山上 内容：ボランティアガイド実施時に、翻訳ツールとして活用。
総合教育センター	時期：平成29年10月～30年3月 場所：市内小学校1校 内容：特別支援学級に在籍する児童・生徒を対象に授業や集会時等で活用。
※この他にも有効な活用策を検討していきます。	

香川県難聴児(者)親の会

■ 主な活動（平成29年度高松市協働企画提案事業） ユニバーサルデザインたかまつプロジェクト ICT活用によるUD先進市高松を目指して！

平成29年度 地域コミュニティ・協働セミナー

H30.2.24(土)13:30-16:00

本日の地域コミュニティ・協働セミナーでは平成29年度高松市協働企画提案事業として採択されていますUDトークを運用しております。このアプリは話す言葉をリアルタイムで文字化するアプリで、障がい者やお年寄り、外国人とのコミュニケーション用として開発されたアプリです。アプリの利用は無料となっておりますのでお使いのスマートフォン・タブレットよりご利用ください。

UDトークは、コミュニケーションを支援するアプリです。
1対1の会話から、多数の会議まで、
使い次第で様々な場面に幅広く活用できます。



UDトーク

検索

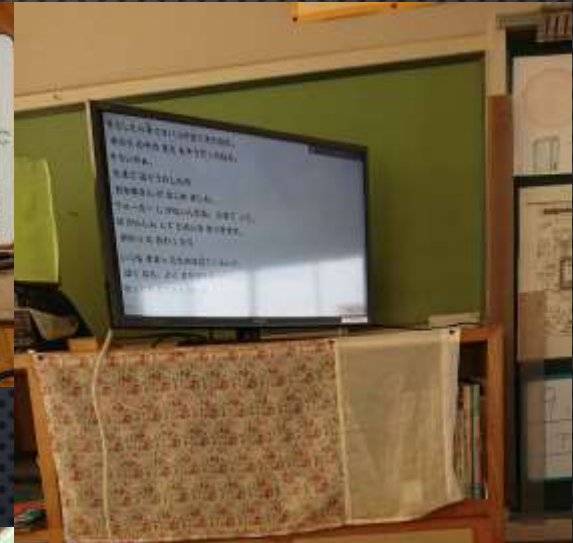


- ①アプリをダウンロードします。
- ②アプリを開き「トークに参加する」をタップします。
- ③カメラが起動しますので下記QRコードを読み込ませてください。



香川県難聴児(者)親の会

- 主な活動（平成29年度高松市協働企画提案事業）
ユニバーサルデザインたかまつプロジェクト
ICT活用によるUD先進市高松を目指して！



香川県難聴児(者)親の会

■ 主な活動（平成29年度総務省

「若年層に対するプログラミング教育の普及促進」事業）

障がいのある児童生徒を対象としたプログラミング教育実施モデル実証事業

実証事業実施計画書 概要

別添2

実施主体

株式会社ミスターフュージョン

実証のフィールドとなる学校名

香川県難聴児(者)親の会

実証概要

今回、ミスターフュージョンと、香川難聴児(者)親の会で、難聴児に対してのプログラミングの授業を行います。難聴児がプログラミング学習を習得するにあたって、必ず障害になってくるのが「聞き取り」です。プログラミングは新しい概念であり、必ず習得の段階で「伝える」という行為が発生します。ただし、難聴児にとっては「伝えた」ことが「聞こえた」ことや、「理解できた」ことが必ずしも一致するわけではありません。そのため、習得難易度を下げるため、3つの試みを行います。まず、1点目がUDトークというアプリを利用し、メンターが話した内容を文字化し、聞き取れない・聞き取ったことを正しく理解できないということを防ぎます。2点目は現在学校現場で使用されている補聴支援機器の利用で補聴器や人工内耳に直接音を伝える装置で対応します。3点目は、プログラミングをビジュアルプログラミングにして、ある程度見て理解出来るものから始めるという点です。以上の点を抑え、難聴児に対してプログラミングの習得に対しての実証を致します。

<実施体制図ではなく、実証概要を表す図>



プログラミング学習は、どうしても学ぶ工程で、「概念を伝える」という行為が発生します。難聴児は障害の程度によりますが、通常の話声も環境によっては聞こえていないことも、伝えたものと聞こえたものが同じではないこともあります。その「聞こえ」の認識の差を埋めるUDトークでプログラミング学習の学習スピードを向上させます。



(株)ミスターフュージョン

①講師派遣

②プログラミングカリキュラム提供



①メンター派遣

②生徒・会場手配



香川難聴児親の会

香川県難聴児(者)親の会

■ 主な活動（平成29年度総務省 「若年層に対するプログラミング教育の普及促進」事業）

障がいのある児童生徒を対象としたプログラミング教育実施モデル実証事業



香川県難聴児(者)親の会

■ 事業を通じての波及効果として...

知事会見 AIで文字化

県、記録作成時間6割短縮

県は17日の浜田知事の定例会見から、会見録の作成にAI（人工知能）を利用した音声認識アプリを導入した。音声自動的に文字に変換するアプリで、従来と比べ作成時間が4割程度に短縮できるといい、業務の効率化につなげる。

音声認識アプリは、知事

や記者の発言をマイクなどの機器を通してタブレット端末で文字に変換。誤変換を職員がチェックして修正する。固有名詞や行政用語を登録でき、修正するたびに精度が上がる。

従来は、職員がICレコーダーの録音を文章に直していた。30分の会見で会見録作成に約2時間かかってしたが、アプリの利用により50分程度に短縮できるといふ。

AIが音声認識 アプリで会見録

香川県が本格導入へ

香川県は人工知能（AI）

による音声認識アプリを使った記者会見録の作成を始める。音声を自動的に文字に変換できるため、ICレコーダーを聞き直す従来方式より、作成時間が4割ほど短縮できるといふ。AIなど先端技術を活用する一環

で、業務の効率化に役立
てる。

知事の記者会見で4月から試用しており、17日から本格導入する。音声
を自動変換した文字データ
を担当者チェックして仕上げる。固有名詞
や行政用語などで起き
やすい誤変換も登録す
ると、精度が上がるとい
う。

採用するアプリには多
言語翻訳機能もあるた
め、今後は外国人が参加
する庁内会議や講演会な
どでの利用も検討してい
くという。記者会見録は
ホームページで確認でき
るほか、動画としても掲
載している。

香川県難聴児(者)親の会

■ 事業を通じての波及効果として...

来月、高松市は

手話言語及び情報コミュニケーション条例(仮称)

制定へ

条例に**情報通信機器**の文言が入るのは全国初！

高松市役所内に情報通信端末30台設置予定

香川県難聴児(者)親の会

■UDトークとは

「JIS S 0042 高齢者・障害者配慮設計指針－アクセシブルミーティング」を参考に作成。

多言語の翻訳・音声認識・音声合成を実装することで、障害者・言語・世代間にと、コミュニケーションの

「UD＝ユニバーサルデザイン」を支援する、
多目的に使えるコミュニケーションアプリ

香川県難聴児(者)親の会

■まとめ

自立支援をサポートする I C T の活用に向けて

多用する I C T の活用

サイバーセキュリティ対策

セットで検討すべき！

香川県難聴児(者)親の会

■最後に...

人の手では行き届かないところに

I C T（情報通信機器 等）を活用するため、

サイバーセキュリティとセットで

検討・対応を進めながら、

共生社会推進に向けて貢献してまいります。

ご清聴ありがとうございました。